

八丈高等学校 全日制課程(島外生徒受入事業等) Q & A (第1回版)

【島外から八丈高校全日制課程に入学する方法について】

Q: 島外から八丈高校全日制課程に入学するには、どうしたら良いですか。

A: 方法が3つあります。

- ① 島しょへ保護者ととともに転居することが確実なこと。
- ② 都内の中学生で、入学までに島しょ在住の身元引受人になり得る6親等以内の親族と同居することが確実なこと(例: 保護者の方のどちらかと一緒に移住する方法)。
- ③ 「島外生徒受入事業」に合格していること。

Q: 「島外生徒受入事業」とは何ですか。

A: 東京都と島しょの町村(新島、神津島、八丈島)が協力して、島しょ以外の都内に居住する中学生が島しょの都立高校へ進学できる取組です。新島高校と八丈高校ではホームステイ、神津高校は寮生活になります。

Q: 「島外生徒受入事業」に申し込みれば、全員入学できるのですか。

A: 定員があります。申し込み後に選考試験を受験し、その結果入学候補者(応募資格の審査に代える)が決まります。

Q: 「島外生徒受入事業」の申し込みや受験方法について教えてください。

A: 例年10月頃、東京都教育委員会、八丈町教育委員会のホームページに掲載されます。

【ホームステイについて】

Q: ホームステイ先の間取りや学校からの距離などは、どのようになっていますか。

A: 受け入れるホームによって異なります。例年、10月中旬には公開される予定です。

Q: ホームステイには、門限やルールはありますか。

A: 家庭ごとにルールがあるように、ホームステイ先にもルールがあります。食事や入浴、家事のお手伝いや門限など、皆が安全で気持ちよく生活できるようにしています。

Q: ホームステイ先での休日の過ごし方は自由ですか。

A: 八丈島の自然体験や部活動など自由に楽しむことができます。八丈町の行事等には、計画的に参加して地域交流を通して八丈島の理解を深めていただければと思います。

【島外生徒受入事業の過去5年間の状況について】

Q: 今までのホームステイへの受入状況を教えてください。

A: 令和4年度: 募集1名・応募2名、令和3年度: 募集2名・応募7名、平成30年度: 募集1名・応募3名 (令和2年度、元年度はホームステイ募集はありませんでした)

【島外生徒受入事業応募概要について】

Q: 「島外生徒受入事業」の応募の仕方について教えてください。

A: まず、11月初旬までに八丈町教育委員会に事前問合せをします。11月下旬までに「出願(必要書類の提出)」し、12月中旬に「島外生徒受入選考 受験(12月下旬、合格発表)」になります。

Q: 応募する場合に、必ず島を訪問しなければならない日などを教えてください。

A: 特に定めていませんが、応募する前に学校や生活するホームステイ先を訪問しておくで安心です。「授業公開」週間も年3回実施しています。夏休みや冬休み中は校舎に入れない日もありますので、必ず事前にお電話でご確認ください。

【島外生徒受入事業ではなく移住について】

Q: 島外生徒受入事業ではなく移住を考えていますが、どのような手続きが必要になりますか。

A: 「応募資格審査」が必要になります。「東京都立高等学校入学者選抜実施要綱(東京都教育委員会)」に詳しく書かれています。(東京都教育委員会のホームページで確認できます)

「第2-3-2 全日制で応募資格審査等が必要な場合

(6)島しょ以外の都内に住所を有し、都内の中学校を卒業する見込みの者のうち、島しょの都立高校(大島海洋国際高校を除く)への受験を希望する者で、入学日までに当該島しょに保護者の1人以上とともに転居すること又は当該島しょに在住する身元引受人になり得る親族と同居することが確実な者及び島しょの町村が別途独自に実施する島外生徒受入選考の合格者は、島しょへの転居及び身元引受人に関する申立書(様式 15-2)を提出することにより、応

募資格の審査に代える。」

【移住する場合の相談窓口について】

Q：移住する場合には、住宅を紹介してくれますか。

A：八丈高校では住宅の紹介はできませんが、「八丈町役場の企画財政課」や「八丈町移住定住促進協議会」がサポートしてくれます。

【授業について】

Q：スキューバダイビングの資格や海の生物について触れる授業がありますか。

A：「海洋文化実習」という、スキューバダイビングの資格が取れる授業があります。海洋生物の観察も行います。

【通学方法について】

Q：八丈高校の定時制課程は、自動車やオートバイの通学が許可されていますが、全日制課程も同様ですか。

A：八丈高校の全日制課程では許可していません。バスや自転車、徒歩での通学になります。

Q：家賃はいくらぐらいですか。物件は、どのように探せば良いですか。

A：間取りも家賃も様々です。また、物件の空き情報は、例年、1月から3月くらいの間が多いようです。事前に不動産会社へ連絡しておけば、情報が入手できるようです。また、町営住宅については「八丈町役場建設課管財係」へお問合せください。

【見学について】

Q：学校見学や授業見学はできますか。

A：事前に八丈高校全日制課程副校長へお問合せください。

「授業公開」週間や「園芸科体験」・「家政科体験」は土曜日の実施もあります。ホームページやTwitterで日時を確認してください。また、事前にご相談いただければ、土・日・祝日等、中学校を休まずに学校見学することも可能です。

Q：八丈島に行くには、どのような方法がありますか。

A：羽田空港から飛行機で行く方法と、竹芝桟橋から船で行く方法があります。

飛行機は「ANA」へ、船は「東海汽船」へお問合せください。

Q：八丈島に行くためのオススメの方法はありますか。

A：金曜日の夜に竹芝桟橋から出発する船に乗れば、翌日の土曜日朝に八丈島に到着します。土曜日に八丈島で一泊して、日曜日の午後に八丈島空港を出発する飛行機で帰れば、両方を経験することができます。

Q：宿泊先には、どのような施設がありますか。

A：リゾートホテルや民宿等、たくさんの宿泊施設があります。

Q：オススメの宿泊施設はありますか。

A：見学コースや島内を移動する交通手段等によって異なります。「八丈町移住定住促進協議会」へ相談してください。

【八丈島の生活について】

Q：八丈島で生活するうえで、注意することなどはありますか。

A：自然が豊かなため、鳥や昆虫等がたくさんいます。住宅によっては、アリやクモなどが入ってくることがあります。また、道路にはイタチやサソリモドキがいることもあります。

Q：雨や風は激しいですか。

A：雨や風は激しいです。島民の多くの方は、傘ではなくレインコートを着用しています。雨や風の強い日は、自転車で移動することは容易ではありません。台風の時には雨戸を閉めます。

【問い合わせ先電話番号】市外局番 04996

八丈高校全日制課程 2-1182

八丈町教育委員会 2-7071

八丈町建設課管財係 2-1124

ANA 国内線予約 0570-029-222

八丈町企画財政課 2-1120

八丈町移住定住促進協議会 2-4784

東海汽船 03-5472-9999